

KI手法による設計開発チームの生産性改善

改善事例の背景

◇M電器／電子事業部・設計部門

◇KI手法導入スケジュール

KI手法の学習…………… 3ヶ月

モデルチームの運用…………… 6ヶ月

モデルチームの成果評価… 3ヶ月

課全体への水平展開…………… 2年

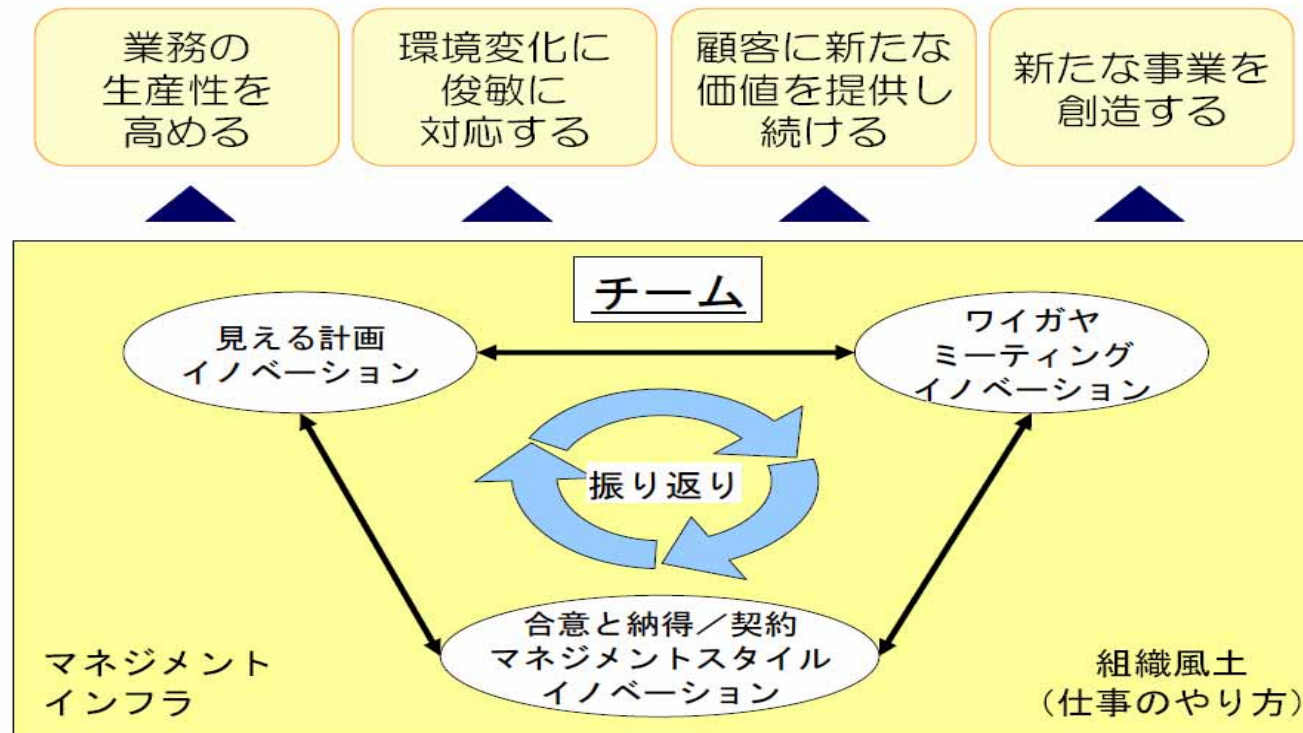
◇コンサルティング期間: 18ヶ月

1. 技術スタッフの生産性改善KI手法導入のポイント

- ① KI手法で個人の力、チームの力を最大限発揮する
- ② 「知恵を出し合うから『チーム』という」のとおり、お客様が抱える問題や、プロジェクト運用での問題に対し、チームとして知恵を結集した行動が出来るマネジメント・スタイルに変革する。
- ③ 問題や計画の「見える化」、事前の「技術バラシ」、「ワイガヤミーティング」、上位マネージャとプロジェクトとの間の「見せる責任/見る責任」等のキーワードで個人/チーム/組織による最大限の知恵と行動が発揮出来る業務スタイルの定着を図る。
- ④ 個人の資質・能力に頼った組織運営を排除する。
- ⑤ 社員個人の資質や能力によって構築したシステムの品質が大きく左右されないよう、業務手順の標準化を行う。

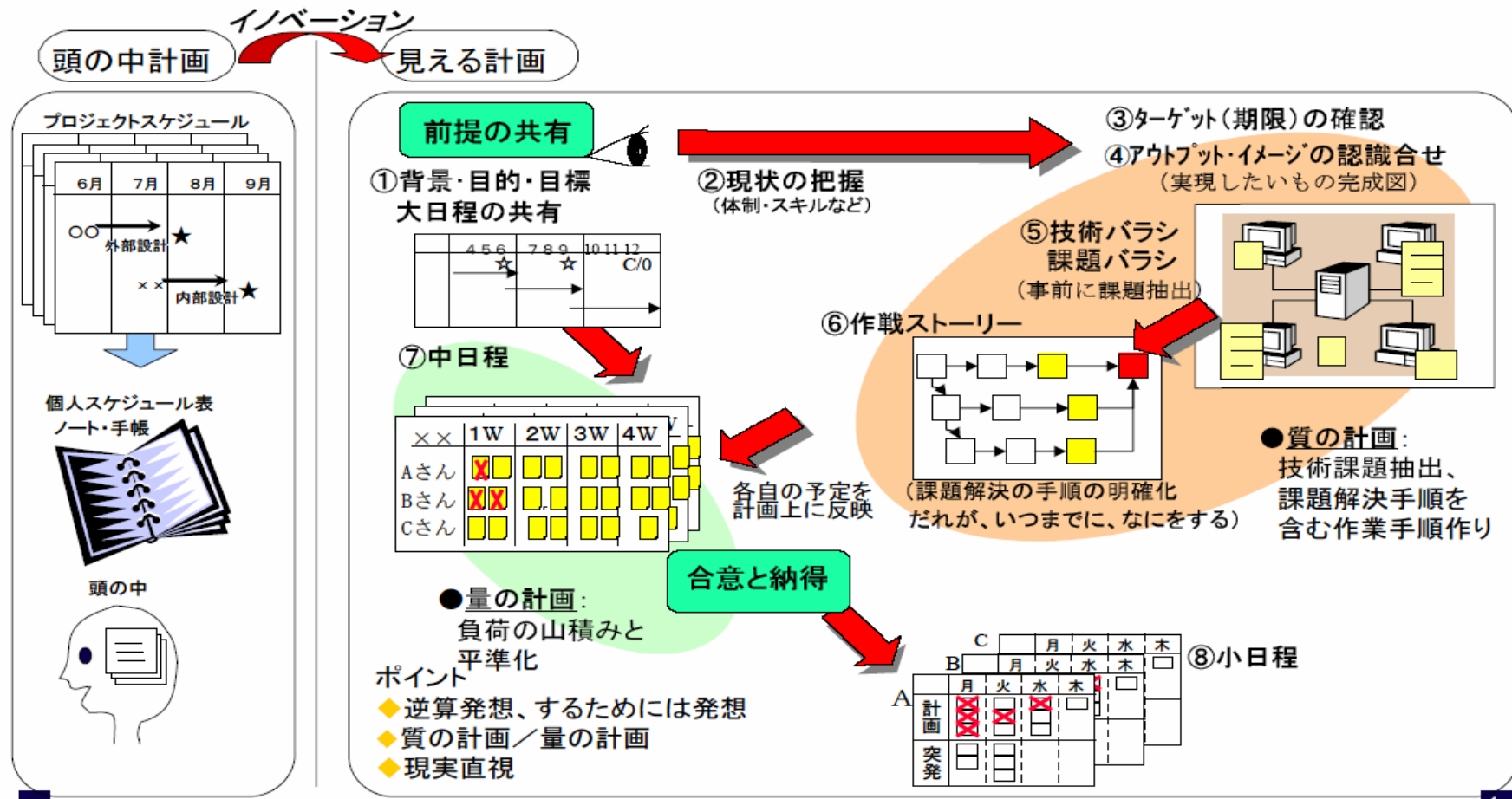


2. 3つのイノベーションにより成長し続けるチーム作り



- ◇開発現場の現実を悪魔のサイクルを通して直視し、組織に横たわる問題・課題を部門全員で共有して改革をスタート。
- ◇その問題・課題を解決するために見える計画・ワイガヤミーティング・合意と納得 & 契約マネジメントスタイルの3つのイノベーションを対象者自ら起こしていきます。
- ◇そして、定期的に振り返り、一人ひとりの気づきを駆動力にして改革を実現します。

3. 見える計画

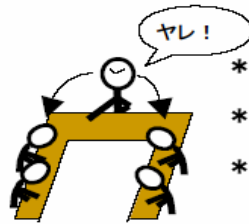


- ◇計画上で全体像を描く
- ◇課題・問題・異常の認識
- ◇一人ひとりの思い・考えが見える

4. ワイガヤ・ミーティング

イノベーション

お通夜の進捗会議



- * 方針なし!
- * 解決策検討なし!
- * 特定の人が発信!

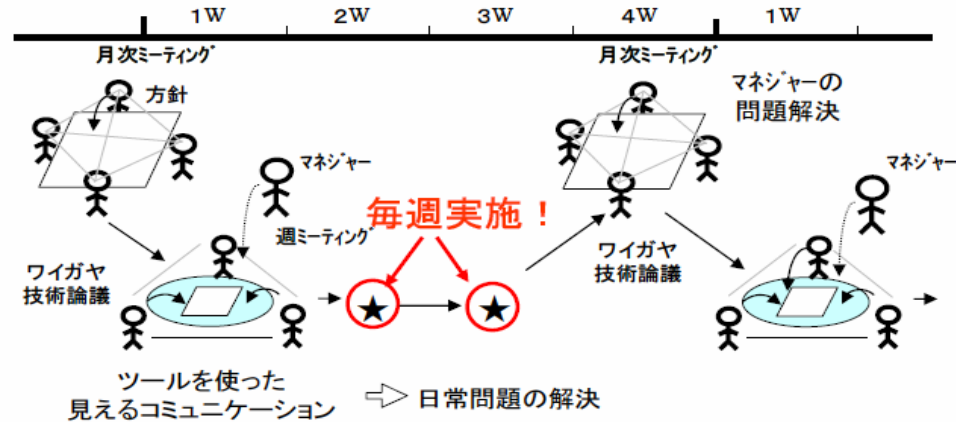
空中戦ミーティング



- * 書かない!
- * 記録が残らない!
- * 議論が見えない!
- * 結論が判らない

ワイガヤ・ミーティング

* 不安や課題、潜在的な問題を全員が安心して話せる

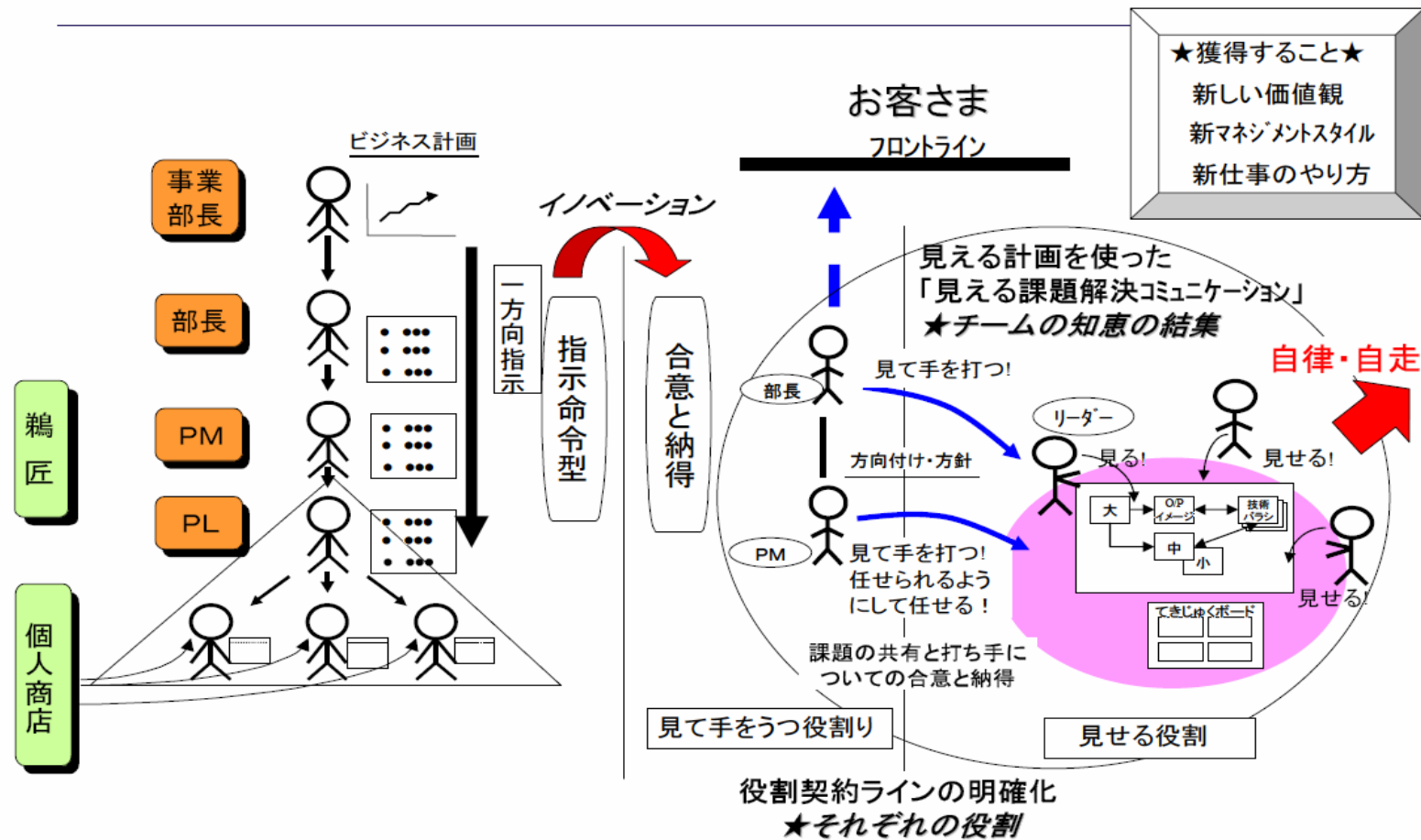


- ☆ 全員参加・全員平等
- ☆ 安心・安全
- ☆ 定期開催(曜日・時間・場所を先に計画)
- ☆ 発散と収束(必ず意思決定あり)
- ☆ 笑う・見る・聴く・しゃべる

- ◇ コミュニケーション、課題発掘、解決策検討、意思決定をミーティングの場で効果的に実行
- ◇ 全員参加・全員平等
- ◇ 不安・気がかり・モヤモヤも堂々とオープンマインドで本音議論

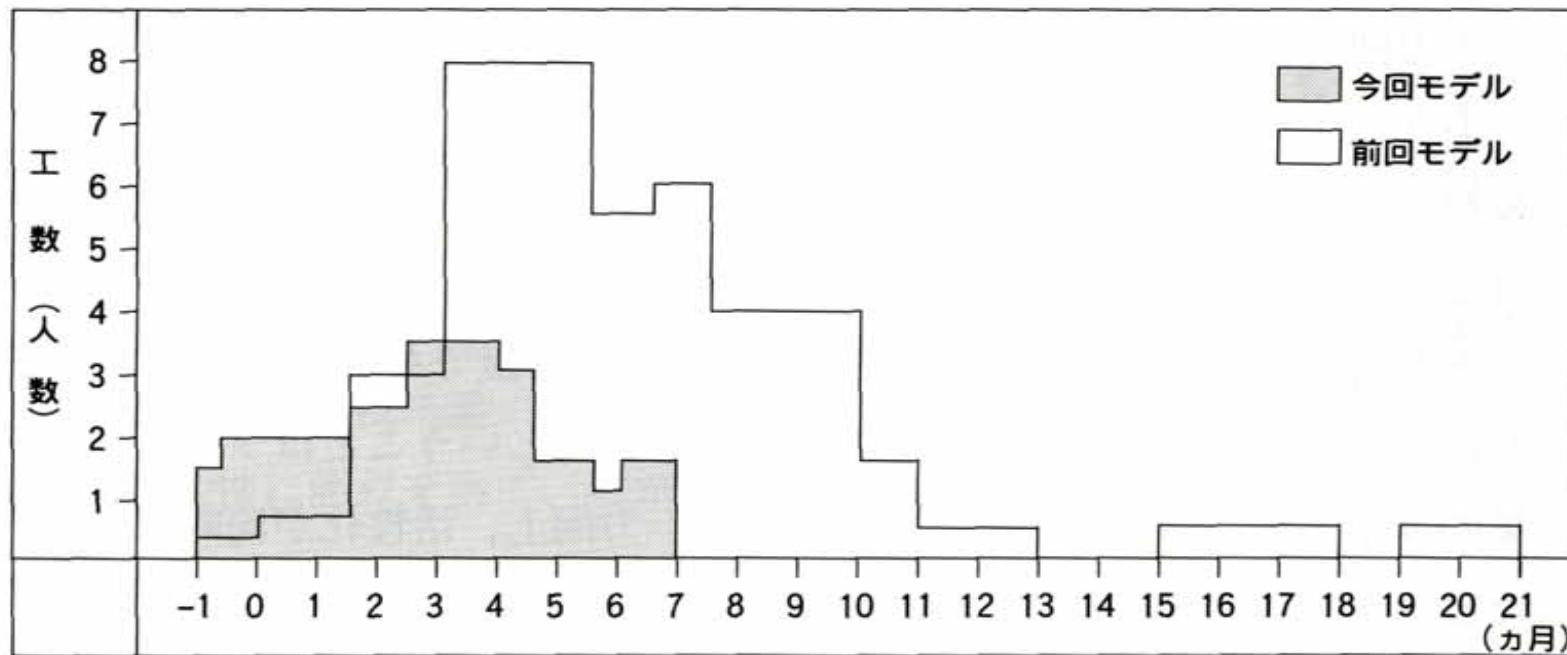
5. 合意納得&契約マネジメントスタイル

マネジメントスタイル



- ◇仕事の背景・目的・目標を常に共有
- ◇仕事の進捗を妨げる課題について議論
- ◇それぞれの役割分担明確化

6. 改善成果：パフォーマンス改善



- ①生産性 63%UP (改善前 55.7人・月→改善後20.5人・月)
- ②設計リードタイム 約1／3に短縮 (改善前22ヶ月→改善後8ヶ月)
- ③Max投入人員 △4人 (改善前8人→改善後4人)

7. 改善成果: マネジメントレベル向上

